

砂防スペシャリストを目指して

～高度な土砂災害対策に従事する地方整備局等職員の育成支援プログラムを実施～

～大規模土砂災害対策技術センター・紀伊山系砂防事務所～

国交省職員を対象として砂防のスペシャリストを育成することを目的とした国土技術政策総合研究所による「高度な土砂災害対策に従事する地方整備局等職員の育成支援プログラム」の現地実習を、大規模土砂災害対策技術センターと紀伊山系砂防事務所管内にて実施しました。全国の地方整備局から職員（砂防関係他12名）が集まり、国土技術政策総合研究所職員の指導のもと、TEC-FORCE派遣時を想定した溪流調査訓練や、レーザ測距儀を使って河道閉塞（天然ダム）を計測する訓練を実施しました。



<実施日程・事項>

- 令和5年10月24日（火）：大規模土砂災害対策技術センターにて研究成果を説明、和歌山県土砂災害啓発センターにて防災啓発活動について聴講・見学、那智川流域金山谷川にて溪流調査訓練、奈良県五條市清水地区（深層崩壊地）にてレーザ測距儀の訓練
- 令和5年10月25日（水）：奈良県五條市赤谷地区（深層崩壊地）にてレーザ測距儀による河道閉塞（天然ダム）の現地計測訓練、奈良県五條市栗平地区（深層崩壊地）の現地視察
- 令和5年10月26日（木）：研究課題発表、近畿地方整備局にて土石流氾濫計算プログラム（QUAD）による土砂災害緊急情報作成の演習、大規模土砂災害技術センターの副センター長である河川保全管理官の講話

和歌山県の土砂災害啓発センター職員から、啓発センターの防災啓発活動について説明いただきました。県内外への多くの出前講座活動、県外からの修学旅行等の研修受け入れなど積極的な防災啓発活動を行っていることの説明をいただきました。



和歌山県の土砂災害啓発センターにて、防災啓発活動の説明と大規模土砂災害対策技術についての座学を聴講。UAV映像から崩壊地を推定する訓練も実施しました

那智川流域金山谷川にて、UAVやレーザ測距儀を活用した溪流調査訓練を実施しました



各種レーザ測距儀による河道閉塞箇所の計測技術を訓練しました

土砂災害緊急情報作成のようす

【問い合わせ先】 国土交通省 近畿地方整備局 大規模土砂災害対策技術センター

〒649-5302 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町市野々3027-6 TEL：0735-55-0820

